

第 39 回「発展途上国研究奨励賞」(2018 年度)

表彰作品

『国宝の政治史—「中国」の故宮とパンダ』（東京大学出版会）

著者 家永 真幸 東京女子大学 現代教養学部国際社会学科国際関係専攻 准教授

近代国家「中国」が、どのようにして故宮とパンダを国宝と呼ばれるようにしたのか？その歴史的変遷を考察し、本来的には恣意的な線引きにすぎない近代国家の「領土」や「国民」の境界線が、現代においていかに固定化され、維持されているのか、本書を通じてその一端を解明する。

推薦著作 単行書 31 点（重複分除く） ※2017 年度は 35 点（重複分除く）

選考委員会

委員長	田中 明彦	政策研究大学院大学 学長
委員	上田 元	一橋大学大学院社会学研究科 教授
	栗田 禎子	千葉大学文学部 教授
	高原 明生	東京大学法学部・大学院法学政治学研究科 教授
	藤田 幸一	京都大学東南アジア地域研究研究所 教授
		(以上 50 音順)
	深尾 京司	アジア経済研究所長

表彰式および受賞記念講演 2018 年 7 月 2 日（月）14:00 ～ 15:30（予定）
場 所：日本貿易振興機構アジア経済研究所 C21 会議室